

1. 調査の目的

春日市民及び市民図書館利用者の市民図書館に対する考えを把握し、今後の市民図書館運営方針及び長期計画の策定のための基礎資料とする目的で実施した。

2. 調査の性格

(1) 調査場所

- a. 市民意識調査 春日市全域
- b. 来館者調査 春日市民図書館

(2) 調査対象

- a. 市民意識調査 春日市内に居住する 10 歳以上の男女個人
- b. 来館者調査 春日市民図書館の来館者、10 歳以上の男女個人

(3) 抽出方法

- a. 市民意識調査 各地区自治会長及び隣組長の世帯
- b. 来館者調査 春日市民図書館来館者

(4) 調査方法

- a. 市民意識調査 各地区自治会で配布し、公民館及び市民図書館において回収
- b. 来館者調査 市民図書館内で配布し、館内に回収箱を設置し回収

(5) 調査期間

- a. 市民意識調査 平成 21 年 8 月 25 日～9 月 30 日
- b. 来館者調査 平成 21 年 10 月 6 日～10 月 11 日

(6) 配布数及び回収結果

	a. 市民意識調査	b. 来館者調査
調査票配布数	1819	628
有効回収数	940	584
有効回収率	51.7%	93.0%

(7) 調査の企画・集計・分析

春日市教育委員会社会教育部社会教育課図書館担当

3. 調査項目

		a. 市民意識調査	b. 来館者調査
. あなたご自身について(属性)	性別		
	年代		
	世帯構成		
	居住地	(地区別に配布回収)	
	居住年数		
	職業		
. 市民図書館に 関することについて	利用頻度		
	利用日		
	利用時間		
	利用する理由		
	満足度		
	満足の理由		
	不満の理由		
	利用しない理由		
	各サービス認知度・要望度		
	充実すべきサービス		
	充実してほしいサービス		
	貸出期間		
	貸出点数		
	移動図書館巡回希望		
	子どもの読書活動の推進		
	図書館でのボランティア		
図書館に対する自由意見			

4. 報告書についての留意点

単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数(標本数)を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

単数回答における無回答については、その設問を複数選択した回答者も含む。

複数回答の集計については、項目別に、基数(標本数)に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。

数表、図表、文中に示すN、nは、回答率算出上の基数(標本数)である。

N = 標本全数

n = 該当数(その質問を回答しなくてよい人を除いた数)

選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるため、詳細は巻末の調査票を参照のこと。

文中の選択肢の表記は「」で行い、選択肢のうち、二つ以上のものを合計して表す場合は『』で表記している。

2つ以上の選択肢を合計して表す率については、各選択肢の回答者数の合計をもとに算出しているため、選択肢個々の回答率の合計とは、必ずしも同じにならない場合がある。

該当数ベースでのクロス集計において、母数が少ないものについては参考数値とする。

居住ブロックのわけ方は下記のとおりとしている。

a. 市民意識調査(居住行政区)

中央ブロック : 大谷、小倉、小倉東、ちくし台、昇町、紅葉ヶ丘、弥生、若葉台西、若葉台東

東ブロック : 春日原、春日原南、宝町、千歳町、光町、大和町

西ブロック : 泉、上白水、下白水北、下白水南、白水池、白水ヶ丘、天神山

南ブロック : 大土居、春日、春日公園、惣利、塚原台、平田台、松ヶ丘

北ブロック : 岡本、桜ヶ丘、サン・ビオ、須玖北、須玖南、日の出町

b. 来館者調査(居住地)

中央ブロック : 大谷、小倉、ちくし台、昇町、紅葉ヶ丘、弥生、若葉台

東ブロック : 春日原、宝町、千歳町、伯玄町、光町、大和町

西ブロック : 泉、一の谷、上白水、下白水、白水池、白水ヶ丘、天神山

南ブロック : 大土居、春日、春日公園、惣利、塚原台、原町、平田台、松ヶ丘

北ブロック : 岡本、桜ヶ丘、須玖、日の出町

市外ブロック : 福岡市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、那珂川町、その他